

感動を呼ぶ群馬県のデイサービス

弊社 代表 砂賀 裕一 著書 『本物施設をつくる一点集中の介護経営』

2023年10月23日に幻冬舎より発行

目指す介護施設がわかる

介護の現場が知れる

介護業界の問題がわかる



株式会社 Precious（プレシャス）は、代表取締役の砂賀裕一による新刊『本物施設をつくる一点集中の介護経営』を、2023年10月23日に幻冬舎より発行することを誇りに思います。この書籍は、設立から8年間の離職率が0%という成功を誇る（株）Precious が、その秘訣である“一点集中の介護経営”を徹底解説したものです。砂賀 裕一代表は、利用者と従業員の幸福を追求し、介護業界において革新的な手法を実践しています。

福祉医療機構が2021年度に発表した調査によれば、デイサービスの46.5%が赤字経営であるという現実が浮き彫りになっています。しかし、（株）Precious が運営する「デイハウスみかんの花」は、“一点集中の介護経営”を採用することで業界で黒字経営を達成しています。この新刊は、（株）Precious が培ってきた「デイハウスみかんの花」の成功の秘訣と、一点集中の介護経営の実践方法を詳細に解説しており、介護業界のプロフェッショナルや経営者にとって貴重な情報源となることでしょう。

※福祉医療機構についての記事

みんなの介護求人：<https://job.minnanokaigo.com/news/kaigogaku/no1274/>

- ・ 出版社：幻冬舎 ・ 頁数：180 ページ ・ ISBN-10：4344947274 ・ ISBN-13：978-4344947276
- ・ 販売先書店：各書店（紀伊國屋書店 / 蔦屋等） / ・ 販売先 Web：amazon：<https://amzn.asia/d/6lFHS4d>



代表取締役「砂賀 裕一」



1978年11月18日生まれ。
高校中退後、篤職・工場勤務・トラックの運転手・パチンコ店員などの職を転々とする。祖父の介護経験をきっかけに介護現場の現状に疑問を抱き、一念発起し2011年、群馬県前橋市にデイサービス事業所「デイハウスみかんの花」を設立。利用者やその家族、現場で働く従業員の双方に寄り添う経営を続け、離職率の非常に高い介護業界のなかで設立から8年間の離職率0%を達成、利用者の高い満足度を獲得している

デイハウス「みかんの花」



『デイハウスみかんの花』が大切にしているのは、“相手を思いやる心”です。特に介護従事者の仕事は、“人と接する仕事”であり、相手のニーズを理解し、幸せを提供するために、“あたりまえ”のことを“あたりまえ”に実践することが介護の世界で最も重要だと考えています。

この人間力を尊重し、育てることに焦点を当てる私たちのデイサービスは、利用者様に最高のケアを提供し、感動を生み出す介護施設を目指しています。



設立から8年間の離職率0%！

利用者も従業員も幸せにする

“一点集中の介護経営”を徹底解説

介護業界の人手不足は喫緊の課題となっており、高齢者が増加する2025年と2040年に向けて、その深刻化が予想されています。この人手不足は、介護職員の負担増やサービス品質低下、介護事故の増加など、経営に多大な影響を及ぼしています。驚くべきことに、この問題が浮上している中でも、一部の経営者は多拠点展開を優先し、サービス品質よりも利益を重視しています。

“介護の本質”は、人々の生活を支え、意思を尊重し尊厳を守ることで、利用者を幸せにすることであるべきです。しかし、この本質が忘れ去られているのが現状です。この状況下で、介護事業の経営者は一つ一つ介護の本質を見つめ直し、それを経営理念に組み込むことが不可欠であると、著者は述べています。

著者は「関わるすべての人が幸せになる介護施設をつくる」という理念を掲げ、デイサービスを設立し、一事業一施設に専念してきました。この理念は、すべての従業員に浸透し、個別研修や評価制度を通じて高い離職率の介護業界で離職ゼロを達成しました。地域との交流を大切に、評価は口コミで広がり、利用者は常に定員を満たしています。

著者の理想は、関わるすべての人々を幸せにすることであり、それを実現するのが“本物施設”です。本書では、著者の考え方とともに、“本物施設”を構築するために行ってきた施策が詳しく説明されています。介護施設経営者にとって、利用者、従業員、家族、すべての関係者を幸せにするための価値ある示唆を提供する一冊です。

- [序章] 加速的に変化する介護業界
- ・みかん色のだるま
 - ・ほかとは違う通所介護
 - ・介護事業の課題——心のラストワンマイル
 - ・認知症の祖父を見てくれる場所がない
 - ・家族が抱く介護への不安
 - ・効率化を優先した介護業界に未来はない
 - ・拡大する介護産業、進む業界再編
 - ・中小事業者の役割

- [第1章] 介護事故、利用者への虐待、人材不足が招く質の低いサービス……理念なき事業拡大が招く介護業界の問題
- ・マネタイズしやすい介護業界
 - ・利益優先の経営
 - ・年々増える介護事故
 - ・従業員による利用者への虐待
 - ・見捨てられる高齢者
 - ・包括的サービスの落とし穴
 - ・事業者利益を優先する運営
 - ・増え続ける介護ニーズ、不足する人材
 - ・離職率が高く、人材が育たない職場環境
 - ・介護事業への理想がない経営者たち
 - ・介護に何よりも必要なのは志
 - ・理想の介護事業所づくりに挑戦

- [第2章] 一施設に経営リソースを注げば、理念が従業員に浸透する本物施設をつくる“一点集中の介護経営、とは
- ・素人集団が始めた小さな事業所
 - ・利用者にとっての理想の介護施設
 - ・従業員にとって働きがいのある介護施設
 - ・経営者が目指すべき理想の介護施設
 - ・介護経営は「人」がすべて
 - ・介護を通じて従業員と経営者の人間力を高めていく
 - ・あいさつはコミュニケーション力と洞察力の基礎
 - ・「ごめんなさい」と「ありがとう」は魔法の言葉
 - ・共感力は介護の仕事で大きな武器になる
 - ・利用者の残りの人生を伴走する仕事
 - ・家族に対するレスパイトケアの重要性
 - ・変わらないことへの安心感
 - ・利用者、家族、ケアマネジャー、三方よしの経営
 - ・人生の終盤を楽しく過ごせる場所を目指して
 - ・トラブルから強い信頼関係をつくっていく
 - ・介護にこそ必要な、きめ細やかな心遣い
 - ・マニュアルではなく、心で物事を考える
 - ・利用者の一歩踏み出す勇気を全力でサポートする

- [第3章] 地域イベントの開催、オーダーメイドの研修、従業員主体の評価制度サービスの質を高め利用者を幸せにするための本物施設づくり
- ・施設づくりは従業員との理念共有から
 - ・利用者との信頼関係づくり
 - ・未来の行動に対する期待が信頼の本質
 - ・外部の学びの場を積極的に提供する
 - ・経験・キャリアばかりで従業員を評価しない
 - ・あいさつは特に重要な評価基準
 - ・チームプレイの介護サービス
 - ・利用者は口コミで増える
 - ・介護事業所の地域との関わり方
 - ・従業員は経営者の背中を見ている
 - ・ともに切磋琢磨するなかで想いを共有する
 - ・自分自身がワクワクすることがリーダーの条件
 - ・想いが伝われば、従業員は離職しなくなる
 - ・外の世界を経験して戻ってきた従業員

- [第4章] 理念ファーストの介護従事者を育てれば、利用者を幸せにする“本物施設、が増えていく——
- ・増え続ける高齢者のために何ができるのか
 - ・理想を追求して介護業界を変える
 - ・志をともにする仲間存在
 - ・施設は最高の学び場
 - ・超高齢社会に生きる人全員が幸せな世界へ
 - ・一隅を照らす

帰宅時泣いてしまう利用者が続出するデイサービス



介護とは「心」であり、介護従事者の人間力がとても必要な仕事です。

特に介護施設を利用される方は「これからの人生が不安」であり、心を閉ざしていることも少なくありません。

わたしたち「デイハウスみかんの花」は代表 砂賀が掲げる「相手をを思いやれる心」を重要としてご利用者と接しています。「相手をを思いやれる心」を持ち接すると、ご利用様は次第に心を開いてくれて、いつからか「デイハウスみかんの花」からご自宅に帰る際には涙を流して惜しむ人もいらっしゃいます。

このようなデイサービスは全国的も少なく私たちが心を持ってご利用者と接した証と思っています。

このプレシャイズムを全国の介護施設運営者または介護従事者の方々にお届けしたいと思い“一点集中の介護経営”を発行するにいたしました。



【動画でも施設の様子をご覧くださいます】

<https://youtu.be/-1iY8Pr9VBU?si=14ty3bEEAZI5PuCM>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 Precious

- ・所在地：〒371-0846 群馬県前橋市元総社町1201-1
- ・TEL：027-226-6622
- ・MAIL：spt98389@silver.ocn.ne.jp
- ・Web：http://precious2011225.com



[Web]

担当：取締役 武井 信介